

てん しゅ だい 天 守 台

天守台は本丸（^{ほんまる}殿主丸）南東部の城内で最も高く、奥まったところに位置し、石垣の高さは約17m、平面規模は東西約18m、南北約20mであります。

築城（1609）時に、天守閣は江戸幕府の指示により、^{じょうかく}城郭が堅固（^{けんこ}けんこ）すぎるとの理由で建築を中止し、代わって、南東隅に二間四方（^{にけんしほう}4m四方）単層の隅櫓（^{すみやぐら}すみやぐら）を配置し、東面と南面に土塀（^{どべい}どべい）をめぐらせていました。

東方には丹波富士と呼ばれる中世の山城である高城山（^{たかしろやま}たかしろやま）（^{やかみじょうあと}八上城跡）が美しい姿を見せております。

平成10年10月吉日

篠山町





































